

# 令和4年度 岐阜県公衆浴場入浴料金審議会 議事概要

## 1 日 時

令和5年2月28日(火) 14:00~15:10

## 2 場 所

岐阜県庁 1407 会議室

## 3 出席者

委員 7名

事務局 3名

## 4 議 題

### ○公衆浴場入浴料金統制額の改定について

- ・事業者(委員)より一般公衆浴場の現状について説明
- ・事務局より公衆浴場実態調査結果及び統制額改定案について説明

### 審議結果

- ・大人料金:500円、中人料金:180円、小人料金:100円

## 5 議事要旨

### ○事業者による説明

(委員)お客さんが戻ってきたというが、コロナ前と比べて5%増ということか。

⇒私の場合、コロナ禍は、最初の緊急事態宣言下でスーパー銭湯が休んでいるときは、1.5倍増となったが、その後約15%減となり、以降、徐々に入浴者数は回復し、現在は3年前と比べて約5%増で推移している。

そんな中でも、毎日入りに来るようなお年寄り相手の浴場は、コロナの影響で入浴者数が減ったところが多く、今でも影響が大きい。

### ○事務局による説明

(委員)令和2年と3年がコロナ禍という特殊な時期なので、その実績データを基に推計値を算出するのが、過小評価になるのか過大評価になるのかという判断が難しいと感じる。

(委員)中人と小人を大人料金と同じように上げるのもどうか。小人の料金が現状維持なら、子どもを連れて一緒に行く人も増えるのではないか。大人は大きく減ることはないが、小人は減り続けると思う。

銭湯の役割は変わってきている。年配の方など、自分で風呂を沸かして入るよりも銭湯に行く人が結構いる。まだ、これから期待される部分はある。

(委員)浴場の抱える課題は多岐に渡る。また燃料価格も上がるとも思われるので、値上げはやむを得ない。

(委員)令和元年の40円値上げと今回の40円値上げは、かなり状況的に意味合いが違う。今後の世界情勢もあるが、見通せない中ではやむを得ない。

あと、中人、小人の料金も、これからどんどん若い世代に、浴場利用を訴えかけていくために、値上げも必要である。

(委員) お湯は、子どもでも大人と同じように使うので、同じように値上げをすべき。

(委員) 中学生となると、160円からいきなり460円をいただかなくてはならない。その差が余りにも大きい。それぞれを平均的に上がるのが良い。  
親子での料金を設定すれば、こういう問題は、解消できるのかと思う。

(委員) 人件費の算出根拠について、少し過小評価になっているのではないかと思うが、あくまで統制額は上限の設定である。中人、小人の入浴料金値上げについては、利用者がかなり少ないことから、この料金案でも普段利用されている方への影響は少ないと考えられる。

(委員) 子どもが来やすい料金設定じゃないと来場者も増えない。経営努力で何とかカバーしていただきたい。利用者目線で料金設定、サービスをしていただきたい。

#### ○ 決議

(会長) 皆様のご意見を伺うと、事務局からの提案に、ご異議はないと判断する。それでは、大人料金を500円、中人料金を180円、小人料金を100円とする案でよろしいか。

(各委員) 異議なし

(会長) 出席委員全員の賛成を得たので、大人料金を500円、中人料金を180円、小人料金100円とすることで決定する。

各委員の意見も踏まえ、今ほど決議した入浴料金統制額の付帯意見として、公衆浴場は、日常生活に欠かせない施設のため、業界と行政、両者に対して公衆浴場の充実確保に努力してもらいたい旨の要請を、当審議会の付帯意見として答申に盛り込むことを提案したいと思うが、いかがか。

(各委員) 異議なし。

(会長) それでは、答申に付帯意見として付け加えることに決定する。

以上